

3月定例会日程決まる



定数削減条例 (18人→16人) 初日討論・採決へ

米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

2021年度第1回定例会は、3月8日から3月25日まで開催されます。議案45件(専決処分承認1件、人事同意3件、議会提出議案5件、補正予算6件、予算等議案30件)、最終日追加議案2件、請願1件(米原市の教育施設などに安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願)が提案・審議される予定です。

定例会日程

- 3月8日本会議(議案説明)
- 3月9日代表質問
- 3月10～11日一般質問
- 3月12～19日各常任委員会・予算常任委員会分科会
- 3月24日予算常任委員会(全体会)、議院運営委員会
- 3月25日本会議最終日(採決)

一般質問の概要

生活保護行政の改善について

昨年12月22日に元福祉事務所職員の裁判員裁判判決が大津地裁で下され、裁判長は生活保護を担当していた元職員の過酷な職務環境に「相当程度同情の余地がある」として、「懲役3年、執行猶予5年」の判決を言い渡しました。

私、この事件の起こる直前の2019年12月定例会で、過酷な状況にある生活保護ケースワーカーの待遇改善と全庁体制での福祉事務所への支援について、また事件後の2020年3月定例会では、事件の再発防止策、問題が指摘されてきた福祉事務所の指導体制の改善などを質問し、市も指導員など一定の人的配置を行いました。判決によれば、今までに説明されてこなかったいろいろな事実が明らかになってきました。その問題について質問します。

共産党は定数削減反対で討論

初日8日に議会提出議案である議員定数を18人から16人に削減する条例の討論、採決が行われる予定です。提案者は議会運営委員会(委員長北村喜代隆議員)で山脇議員は反対討論を行う予定です。今回議員報酬引上げを提案しない理由についてどの様に説明するのか、賛成討論に立つ議員は誰で、また採決結果は注目です。

第1号被保険者の介護保険料の引き上げ条例は最終日に採決が行われます。(討論の詳細については次号に内容を掲載します。)

米原市の教育施設などに安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願(山中悟さんほか3名)の趣旨説明と質疑

は、3月15日の総務教育常任委員会で行う予定です。

安心してかかれる診療所の設置について

本年3月末をもって、醒井地域の松下医院が閉院するとの情報により、地域の人々に大きな衝撃が走り、私のもとにも不安の声が寄せられています。1月末、地域のひとと一緒に松下医院の2人の先生にお話を伺いに行きましたが、体力面などにより閉院の意思は固く、500人あまりの患者さんを転院先につなぐ手続きを進められているところでした。地域のみなさんは、松下医院の現状に鑑み、閉院はやむを得ないと理解しながらも、身近で通いながれた医院の閉鎖により今後どこに通院するのか、交通手段はどうすればよいのかと不安を抱えておられます。この件については、すでに市長に対して、連名で要望書を提出していますが、早急な醒井地域の医療体制確保を求めて質問します。(介護保険の値上げについての質問は、次号掲載予定)

雑感

議員定数削減の条例が議員提案で提出されます。これは議長の間接により5回のわたって審議された「議員の議員報酬等の在り方に関する審議会」の答申を受ける形で提案されるものである。しかし答申の一番目は「議員報酬の引上げ(一般議員は3万円、議長は1万円、副議長は2万円)」である。その次が定数の削減である。議員報酬の引上げは先送りされている。引上げの条件となる「特別職報酬等審議会」も積極的に開催されることもなかった。今後の議員の報酬の対応が注目される。審議会の委員の方々も自分達は答申したことがどうなるのか気にされていた。議員の都合で答申が勝手につまみ食いされては質問に議論された委員さんに申し訳ない。また今回の3月定例会の一般質問者は7人で2日間の予定が1日になったとのこと。議員定数を減らせば益々こんなことになる。議論されない議会ではないのか。

